

平成 28 年度  
市地域福祉計画・社会福祉協議会地域福祉活動計画  
評価シート

平成 29 年 12 月

会津若松市  
社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会

# 目 次

<b>市地域福祉計画・社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート</b> .....	<b>1</b>
基本目標 1 地域福祉の理解を深め、担い手を育てる地域づくり .....	1
基本目標 2 地域の中での支え合い、助け合いがある地域づくり .....	6
基本目標 3 いつまでも安心、安全に暮らせる地域づくり .....	10
基本目標 4 健康でずっといきいき暮らせる地域づくり .....	24
基本目標 5 福祉サービスの充実した地域づくり .....	28
<b>地域福祉計画評価シート（重点的取組）</b> .....	<b>33</b>
重点的取組 1 地域福祉活動の基盤となる地域の仕組みづくりの推進 .....	33
重点的取組 2 災害時避難行動要支援者に対する日常的な見守り体制 .....	34
重点的取組 3 生活困窮者自立支援の取組 .....	35
<b>地域福祉活動計画評価シート（重点事業）</b> .....	<b>36</b>
<b>会津若松市地域福祉計画等評価検証会議委員名簿</b> .....	<b>37</b>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本理念「誰もが安心して暮らせるよう地域で支え合うあいづわかまつ」

基本目標 1 地域福祉の理解を深め、担い手を育てる地域づくり						
基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 地域福祉の理解促進及び福祉の心の育成	<p>○地域との懇談会、講演会や勉強会等の開催等、地域福祉への理解促進につながる取り組みを実施します。</p> <p>○他地域における地域活動の事例等を市民に紹介していきます。</p> <p>○教育機関や社協との連携や、出前講座の実施等の取り組み等により、福祉の教育の推進や生涯学習の機会づくりに努めます。</p>	<p>○地域福祉の理解促進に向け、『地域福祉計画』及び『地域福祉活動計画』の概要版を一体的に作成し、8月に全戸に配付しました。〔新規〕</p> <p>○『あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム』において、参加者への地域福祉の理解を深めるとともに、事例発表により、地域の取組の情報発信に努めました。〔新規〕</p> <p>○生涯学習総合センターとの連携により『出前講座』を実施し、地域福祉の考え方の理解促進に取り組みました。〔新規〕</p>	<p>○市民の福祉意識の向上のため、各種取り組みを推進します。</p>	<p>○市と共同で『地域福祉活動計画』の概要版を作成し、全戸配布を行ったほか、市と『あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム』の共催により、市民の福祉意識の啓発に努めました。〔新規〕</p> <p>○「社協だより」の発行、ホームページの随時更新、フェイスブックの開設など、情報発信力の強化を図り、社会福祉協議会（以下「社協」）の事業内容の理解促進に取り組みました。</p>	<p>○地域福祉についての理解に努めます。（市民）</p> <p>○地域社会を構成している一人であることを意識します。（市民）</p> <p>○地域の生活課題・福祉課題について意識します。（地域の各種団体）</p> <p>○課題の解決に向けて、可能な範囲で自助の取り組みを行います。（地域の各種団体）</p> <p>○地域福祉やノーマライゼーション等に関する意識啓発に協力することや、従業員が地域活動やボランティア活動に参加することへの理解を深めることに努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p>	<p>○地域福祉計画の認知度 知っている 29.8% 名前は知っている 52.6% 知らない 17.6% ※ 地域福祉活動実態調査（H29）</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 地域活動の担い手の育成と人材育成への支援	<p>○市民公益活動に係る情報の発信及びNPO法人等への活動の支援を行います。</p> <p>○地域活動を行う団体や社協との協力のもと、地域活動の担い手やリーダーとなりうる人材の育成に努めていきます。</p>	<p>○湊地区において住民が主体となって地域課題の解決に取り組む「湊地区地域活性化協議会」の活動を支援し、連携・協働によりイベント開催や農産物直売所運営、地域内交流バス運行、地域の担い手育成などの地域づくり活動に取り組みました。</p> <p>○「湊地区地域活性化協議会」による『地域づくりコアリーダー養成講座』を支援し、地域の担い手となる人材の育成に取り組みました。</p> <p>○『生涯学習支援者養成講座』や『支援者実践講座』、『地域デビュー講座』を開催し、地域学習や地域活動に主体的に参画できる人材の育成に努めました。 〔163名受講〕</p>	<p>○地域活動のリーダーの育成や、地域活動の担い手育成につながるような取り組みを推進します。</p>	<p>○『傾聴ボランティアゼミナール』（養成講座・アフターケア講座）、『地域サポーター養成講座』を開催し、地域活動を担う人材の養成に取り組みました。 〔養成講座 5回 アフターケア講座 3回 31名受講〕</p> <p>○高齢者やボランティアが身近な地域で仲間づくり、生きがいを創出する『ふれあい・いきいきサロン活動』について、助成金の交付と職員の派遣のほか、活動団体の交流会を開催し、活動の推進に取り組みました。 〔開催箇所 76箇所 支援回数 40回 交流会 1回〕</p>	<p>○町内会等の活動について関心を高めます。(市民)</p> <p>○市民公益活動団体やその活動等についての関心を高めます。(市民)</p> <p>○地域の行事や催事等に可能な範囲で参加する努力をします。(市民)</p> <p>○多くの住民の関心を高め、参加できるような運営に日頃から努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○幅広い世代の交流促進につながるような機会の創出に努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○町内会等の行事や運営への協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)</p>	<p>○地域福祉活動のリーダーとして、現在活動している人 町内会役員 44.9% 民生委員 26.3% 老人クラブ委員 8.4% 意欲のある個人 8.0% 研修を受けた住民 3.6% ※ 地域福祉活動実態調査 (H29)</p> <p>《参考》</p> <p>○地域福祉活動のリーダーとして、将来活動してほしい人 町内会役員 20.2% 民生委員 10.2% 老人クラブ委員 0.6% 意欲のある個人 21.1% 研修を受けた住民 32.3% ※ 地域福祉推進調査 (H25)</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	○サロン活動等の地域福祉の基盤となる活動についてのさらなる周知・広報を行うとともに、必要な支援を行っていきます。	○『地域ふれあい事業』（サロン活動）について、社協及び地域包括支援センターとの連携を図りながら広報や支援を行いました。		○ボランティア連絡協議会の事業に参画し、活動の支援、ボランティア事業への連絡調整を行いました。	○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すような働きかけなど、地域貢献につながる取り組みに努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）	
3 若者が参加しやすい環境づくり	○若者のおかれている生活状況やニーズ等の把握を行うためのアンケート調査や懇談等を実施します。  ○大学、企業・事業所、社会福祉関係団体等との協力のもと、若者が地域の中で自然環境や伝統文化にふれる活動、ボランティア活動に参加しやすい環境づくりを進めます。	○地域の学生を対象に、食生活状況の現状把握のための調査事業を行い、分析結果を個別にお知らせしました。  ○会津大学生と市民や高校生が、会津の文化や歴史などを、ともに学習していく機会として、会津大学の授業を會津稽古堂で行う『プレあいづまちなかキャンパス』を開催しました。〔新規〕 〔54名受講〕	○若い世代のボランティア活動に対する理解を深め、参加につながるような取り組みを積極的に推進します。	○小・中学校や企業に訪問し、車イスへの乗車を体験してもらうなどの『出前福祉体験教室』の実施、高校生の夏休み期間を利用した『サマーショートボランティア事業』を実施し、福祉教育の推進、福祉意識の醸成に取り組みました。 〔出前福祉体験教室 15回開催 サマーショートボ ランティア 参加施設 29施設 89名参加〕	○地域の催事や行事に子どもや家族を誘って一緒に参加するよう努めます。（市民） ○地域活動に取り組む市民は、子どもたちを誘い、活動を知ってもらう機会をつくることに努めます。（市民） ○学校等が取り組む地域との交流活動等に協力します。（市民） ○子どもから高齢者までの多様な世代が参加し、交流できる催事や行事の企画運営に努めます。（地域の各種団体）	○若者（親子）が参加しやすい町内会行事の実施状況 清掃・資源物回収等 92.6% お祭り 54.3% 運動会 51.7% 子ども会 39.7% 文化祭 25.7% 学校連携行事 16.6% ※ 地域福祉活動実態調査（H29）

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○若者が地域活動に参加しやすくなるような職場環境づくりに向けて、企業や事業所等に働きかけを行います。</p>	<p>○消防団活動への理解と消防団員の確保のため、事業所へ活動への理解と協力の働きかけを行いました。</p>			<p>○活動に参加する機会が限られている学生や勤労者に対し、回覧板等を活用し、地域の運営や活動に関する情報を継続的に発信するなど、地域の情報から隔離しないように努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○町内会等の行事や運営に対する協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p> <p>○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すように働きかけるなど、地域貢献に繋がる取り組みに努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p>	

## 会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

<p>基本目標 1に係る評価 (平成 28 年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>○地域福祉活動実態調査アンケートによると、地域福祉の理解促進の基本となる、『地域福祉計画』、『地域福祉活動計画』の認知度が「知っている」、「名前知っている」で8割を超えたが、アンケートの対象者が町内会区長であることから、高い認知度となったと思われる。一方で「内容まで理解している」は約3割であり、理解促進のために一層の情報発信に努められたい。</li><li>○湊地区において、湊地区地域活性化協議会が中心となり地域づくり活動が取り組まれていることは、地域福祉活動の一環として評価できる。</li><li>○地域福祉活動実態調査アンケートによると、地域福祉活動の中心となる人を、「意欲のある個人」、「研修を受けた住民」を望んでいるが、実際は町内会の役員や民生委員に偏っている傾向がうかがえる。市の『生涯学習支援者養成講座』、社協の『地域サポーター養成講座』など活動の中心となる人材の育成を継続して取り込むことが望まれる。</li><li>○地域の『ふれあい・いきいきサロン』の数が増加しており、身近な取組として評価できる。サロン活動の継続、拡大になるよう社協を中心に支援を行われたい。</li><li>○将来の活動の中心となる若者が地域福祉活動に参加できるよう、企業などへ職場環境の改善の働きかけを引き続き行うとともに、企業自体も地域の一員として、地域福祉活動に参加するよう意識啓発に努められたい。</li><li>○地域福祉の推進にあたっては、市と社会福祉協議会の連携が必要不可欠であることから、引き続き連携を密にした事業展開を図られたい。</li></ul>
-----------------------------------	---

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本目標 2 地域の中での支え合い、助け合いがある地域づくり						
基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 地域福祉活動への参加の促進	<p>○地域福祉活動に取り組む体制が十分でない地域への支援を行います。</p> <p>○既に実践されている地域活動の事例等を市民に紹介していきます。</p>	<p>○地域包括支援センターと連携してミニケア会議等に参加し、地域の課題把握に努めるとともに、地域福祉計画の考え方や取組の理解に努めました。〔新規〕 〔地域福祉計画説明〕 9回〕</p> <p>○町内会等に、公園緑地などの愛護活動を行う「公園等緑化愛護会」の結成を呼びかけ、また、すでに活動している団体への支援を行いました。 〔公園等緑化愛護会数〕 〔79 団体→81 団体〕</p> <p>○『あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム』において、参加者への地域福祉の理解を深めるとともに、事例紹介により、地域の取組の情報発信に努めました。(再掲)</p>	<p>○地域福祉活動の推進につながるよう、取り組みを進めます。</p>	<p>○地域の支え合い、助け合いの基盤づくりを進めるため、概ね小学校区を単位とした「地区社会福祉協議会」(以下「地区社協」)の組織化に向け、湊地区地域活性化協議会などの関係機関との連携、地域会議への参画を行いました。〔新規〕</p> <p>○『ヤクルト愛の訪問活動』、『電気点検・清掃ボランティア活動』といった企業の社会貢献活動について、連絡調整等を支援しました。 〔ヤクルト愛の訪問活動 726 名利用 電気点検・清掃ボランティア活動 55 世帯訪問〕</p>	<p>○町内会等の地域活動団体に加入します。(市民)</p> <p>○自らが生活する地域の生活課題等について日頃から意識します。(市民)</p> <p>○地域の催事や行事等に可能な範囲で参加することに努めます。(市民)</p> <p>○地域の課題を解決するために、地域で行えることを皆で考えます。(地域の各種団体)</p> <p>○地域の力で取り組めることから行動に移す努力をします。(地域の各種団体)</p> <p>○他地域の取り組みへの関心を高め、情報収集に努めます。(地域の各種団体)</p>	<p>○地域福祉活動の実施状況</p> <p>清掃・資源物回収等 92.6%</p> <p>お祭り 54.3%</p> <p>地区運動会 51.7%</p> <p>こども会行事 39.7%</p> <p>除雪活動 38.3%</p> <p>交通安全・防犯・防災活動 37.1%</p> <p>老人クラブ(サロン活動) 35.1%</p> <p>地区文化祭 25.7%</p> <p>学校連携行事 16.6%</p> <p>その他 15.1%</p> <p>※ 地域福祉活動実態調査(H29)</p>



会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○地域との懇談会、講演会や勉強会等の開催等、地域福祉活動への参加意識を高めるための取り組みを実施します。</p> <p>○勤労者が地域活動に参加しやすくなるような職場環境づくりに向けて、企業や事業所等に働きかけを行います。</p>	<p>○町内会等活動事例を、会津若松市区長会のホームページを活用しながら市民に紹介しました。</p> <p>○『地域ふれあい公民館（巡回公民館）』として、地域の集会所に向きコミュニティ活動の支援に取り組みました。 〔3 回実施〕 〔33 名参加〕</p> <p>○消防団活動への理解と消防団員の確保のため、事業所へ活動への理解と協力の働きかけを行いました。（再掲）</p>			<p>○町内会等の行事や運営に対する協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p> <p>○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すように働きかけるなど、地域貢献につながる取り組みに努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 市民協働による取 組みの推進	<p>○市民協働による取組みが広がるよう、市民への理解促進や情報提供を図っていきます。</p> <p>○市民協働による取組みが推進されるよう地域の多様な担い手と市のネットワーク構築に努めます。</p>	<p>○まちづくりに対する地域住民の意識の高揚を図るとともに、協働のまちづくりを推進するため、地域づくり委員会に補助を行いました。</p> <p>○湊地区において住民が主体となって地域課題の解決に取り組む「湊地区地域活性化協議会」の活動を支援し、連携・協働によりイベント開催や農産物直売所運営、地域内交流バス運行、地域の担い手育成などの地域づくり活動に取り組みました。</p>	<p>○地域住民同士が協力して行う活動の継続や、充実・強化が図れるような支援の取り組みを推進します。</p>	<p>○要援護世帯に対する除雪活動をボランティア活動で支援するため、町内会単位の「地域ぐるみ除雪ボランティア」、企業等の「スノーバスターズ」の組織化を推進しました。</p> <p>（地域ぐるみ除雪ボランティア 組織地区数 87 地区 登録者数 844 名 除雪回数 4,289 回 間口回数 3,038 回 スノーバスターズ 登録者数 194 名 除雪回数 34 回）</p>	<p>○自分が住む地域の NP</p> <p>○法人等の活動などへの理解に努めます。（市民）</p> <p>○知識や能力を地域のために活かせる機会がないかを意識します。（市民）</p> <p>○困ったことを解決するために、自らができる範囲から取り組むことに努めます。（市民）</p> <p>○困ったことについて、問題意識を共有できる人が近くにいないか探してみます。（市民）</p> <p>○課題の解決に向け、地域として何が出来るかを住民同士で一緒に考えてみます。（地域の各種団体）</p> <p>○課題の解決に向け、他地域の取り組み等の情報に関心を高めます。（地域の各種団体）</p>	<p>○地域の支えあいの実施状況</p> <p>安否確認の声かけ 41.7%</p> <p>玄関前の除雪 34.6%</p> <p>話し相手 22.6%</p> <p>悩みごとの相談 13.7%</p> <p>ごみ出し 13.1%</p> <p>※ 地域福祉活動実態調査（H29）</p> <p>《参考》</p> <p>○地域の支えあいの実施状況</p> <p>安否確認の声かけ 11.4%</p> <p>玄関前の除雪 12.0%</p> <p>話し相手 10.5%</p> <p>悩みごとの相談 5.0%</p> <p>ごみ出し 4.7%</p> <p>※ 地域福祉推進調査（H25）</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
				<p>○湊地区における「湊地区地域活性化協議会」、東山地区における「東山人と地域をつなぐ会」の活動に参画し、地域福祉の観点から地域づくり活動に取り組みました。</p>	<p>○課題の解決に向け、可能な範囲から取り組むよう努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○町内会等の行事や運営に対する協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p> <p>○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すように働きかけるなど、地域貢献につながる取り組みに努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p>	
<p>基本目標 2 に係る評価 （平成 28 年度）</p>	<p>○町内会は、地域福祉活動の中心となっていることから、市は町内会活動に対しての支援を引き続き行われたい。</p> <p>○地域福祉活動の拠点となる「地区社協」の組織化に向けて、早期の取組の強化が望まれる。</p> <p>○地域での勉強会などを通じ、他の地域での地域福祉活動の取組事例を紹介するなど、地域の活動意欲の向上に引き続き努められたい。</p> <p>○将来の活動の中心となる若者が地域福祉活動に参加できるよう、企業などへ職場環境の改善の働きかけを継続して実施されたい。</p>					

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本目標3 いつまでも安心、安全に暮らせる地域づくり																
基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成28年度 市の取組	基本施策の展開 ＜社会福祉協議会に求められること＞	平成28年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民間事業者、福祉サービス事業者等に求められること＞	地域福祉活動の実態調査結果										
1 地域の活動拠点づくり	<p>○地域の活動拠点となっている公民館やコミュニティセンター（以下「コミセン」）等の公共施設の利用促進を図るとともに、地域の自治会館や集会所等の地域の活動拠点の整備に係る助成事業等の情報提供を行います。</p> <p>○地域の活動拠点で行われる老人クラブやサロン活動等への参加促進につながる情報提供を行っていきます。</p>	<p>○地域の集会所の助成事業等に情報を提供し、改修、修繕に補助を行いました。</p> <p>○地域住民が公民館に集い、交流を深める場として、若松第3地域包括支援センターとの協働により『よろずお楽しみ会』を開催しました。 〔11回開催〕 〔193名参加〕</p> <p>○老人クラブや『地域ふれあい・いきいきサロン』の活動について、社協・地域包括支援センター及び老人クラブ連合会との連携を図りながら情報提供を行いました。</p>	<p>○地域の活動拠点の積極的な利活用が図られるよう、集いの場の充実支援及び、サロン活動等の新設に向けた支援を推進します。</p>	<p>○『ふれあい・いきいきサロン』の活動支援及び新設に向けた案内を行い、地域における活動拠点、交流拠点づくりに取り組みました。</p> <p>○「認知症カフェひだまり」の開催拠点として、河東園芸ふれあいセンターを開放し、認知症への理解促進に協力しました。 〔10回開催〕 〔366名利用〕</p>	<p>○地域の活動拠点となる施設について把握するとともに、利活用に努めます。（市民）</p> <p>○地域の活動拠点で行う交流促進のためのサロン活動や催事等に積極的に参加するよう努めます。（市民）</p> <p>○市域の公民館、コミセン、自治会館、集会所等の地域の活動拠点となる施設を活用し、住民同士の交流促進のための拠点づくりに努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○地域の活動拠点で行われている催事等への協力を行うなど、地域貢献活動の取り組みに努めていきます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p>	<p>○地域の活動拠点として試用している施設</p> <table border="1"> <tr> <td>公民館</td> <td>25.2%</td> </tr> <tr> <td>コミセン</td> <td>19.9%</td> </tr> <tr> <td>町内会館等</td> <td>31.5%</td> </tr> <tr> <td>民家</td> <td>15.5%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7.8%</td> </tr> </table> <p>※ 地域福祉活動実態調査（H29）</p>	公民館	25.2%	コミセン	19.9%	町内会館等	31.5%	民家	15.5%	その他	7.8%
公民館	25.2%															
コミセン	19.9%															
町内会館等	31.5%															
民家	15.5%															
その他	7.8%															

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 災害時避難行動要支援者への見守り等の日常的な支援	○地域や関係機関との連携を図り、災害時避難行動要支援者の的確な状況把握に努めるとともに、支援のあり方や地域における支え合いの仕組みづくりを進めていきます。	○民生委員などを通じ、地域の災害時避難行動要支援者の状況把握に努めました。 ○町内会に災害時の避難行動支援希望者の情報提供を行いました。〔新規〕	○地域住民が行う災害時避難行動要支援者への日頃からの見守り活動等の取り組みへの支援を行います。 ○地域住民によるボランティア活動への理解促進や参加促進につながるような取り組みを推進します。	○『ふれあい・いきいきサロン活動』や『除雪ボランティア活動』を通じ、地域における見守り活動、支え合い活動の取り組みを支援しました。 ○一人暮らし高齢者に対する支援として、地区民生児童委員協議会単位で行う一人暮らし高齢者会食会事業に対する助成金の交付、北会津地区における「ふれあいひろば」事業の実施、河東地区における「すみれ会」活動の支援など、相互交流の推進とともに、見守り体制の強化に取り組みました。	○近所の災害時避難行動要支援者世帯の有無を意識します。(市民) ○地域の民生委員や高齢者福祉相談員等の把握に日頃から努めます。(市民) ○日頃からの見守り活動を通して、住民同士の交流を深め、災害時に要支援者への必要な支援が行えるような関係づくりに努めます。(地域の各種団体) ○町内会、民生委員、高齢者福祉相談員、その他の地域活動団体間の協力体制づくりに日頃から努めます。(地域の各種団体) ○町内会等の行事や運営に対する協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者)	○地域の見守りの実施状況 41.7% ※ 地域福祉活動実態調査 (H29) 《参考》 ○地域の見守りの実施状況 11.4% ※ 地域福祉推進調査 (H25)

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
				<p>（地区民生児童委員 協議会単位 開催地区 7 地区 ふれあいひろば 12 回開催 120 名参加 すみれ会 5 日開催 104 名参加）</p>	<p>○従業員が地域活動やボ ランティア活動等に参 加しやすくなるような 職場環境づくりや、積極 的な参加を促すように 働きかけるなど、地域貢 献につながる取り組み に努めます。（民間事業 者、福祉サービス事業 者）</p> <p>○日常の業務に合わせた 見守り活動等への協力 に努めます。（民間事業 者、福祉サービス事業者 等）</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果																						
3 生活 支援 に係 る情 報提 供体 制の 充実	<p>○生活支援に係る情報について、市民が理解しやすい情報提供に取り組みます。</p> <p>○生活で困ったときの相談窓口（地域包括支援センターや民生委員等）について、効果的な広報による地域住民の理解促進に努めます。</p>	<p>○「介護保険の手引き」、市政だより、ホームページなどにより、高齢者の生活支援情報の提供を行いました。</p> <p>○子どもたちが義務教育を受けられるよう、生活困窮世帯に就学援助制度の周知を図りました。</p> <p>○高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの周知を図りました。</p>	<p>○ホームページの充実や社協だよりの活用等により、生活支援に係る相談先や支援制度等についての情報提供を進めていきます。</p> <p>○社協の組織、役割、取り組みについての情報発信に努め、市民の理解促進を図っていきます。</p>	<p>○「社協だより」の発行、ホームページの随時更新、フェイスブックの開設など、情報発信力の強化を図り、事業内容の理解促進に取り組みました。（再掲）</p> <p>○「社協だより」やホームページについては、生活支援に係る情報特集ページを掲載し、分かりやすい広報に努めました。</p>	<p>○市政だよりや市のホームページ、町内会からの回覧板等に日頃から目を通すなど、自分や周りの人に必要となる情報の取得に努めます。（市民）</p> <p>○回覧板による周知や、地域の活動拠点への掲示等により、住民に必要な情報をわかりやすい形で伝えることに努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○利用可能な福祉サービスについて、利用者への周知に努めます。（福祉サービス事業者）</p>	<p>○よく利用する生活相談窓口</p> <table border="0"> <tr><td>地域包括支援センター</td><td>18.9%</td></tr> <tr><td>生活サポート相談窓口</td><td>12.9%</td></tr> <tr><td>民生委員</td><td>14.9%</td></tr> <tr><td>その他市役所</td><td>15.1%</td></tr> <tr><td>社協</td><td>5.4%</td></tr> <tr><td>障がい者総合相談窓口</td><td>1.1%</td></tr> </table> <p>※ 地域福祉活動実態調査（H29）</p> <p>《参考》</p> <p>○よく利用する生活相談窓口</p> <table border="0"> <tr><td>地域包括支援センター</td><td>7.5%</td></tr> <tr><td>民生委員</td><td>3.3%</td></tr> <tr><td>その他市役所</td><td>15.1%</td></tr> <tr><td>社協</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>障がい者総合相談窓口</td><td>2.4%</td></tr> </table> <p>※ 地域福祉推進調査（H25）</p>	地域包括支援センター	18.9%	生活サポート相談窓口	12.9%	民生委員	14.9%	その他市役所	15.1%	社協	5.4%	障がい者総合相談窓口	1.1%	地域包括支援センター	7.5%	民生委員	3.3%	その他市役所	15.1%	社協	4.2%	障がい者総合相談窓口	2.4%
地域包括支援センター	18.9%																											
生活サポート相談窓口	12.9%																											
民生委員	14.9%																											
その他市役所	15.1%																											
社協	5.4%																											
障がい者総合相談窓口	1.1%																											
地域包括支援センター	7.5%																											
民生委員	3.3%																											
その他市役所	15.1%																											
社協	4.2%																											
障がい者総合相談窓口	2.4%																											

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
4 子育てにやさしい環境づくり	<p>○子どもを安心して産み育てられる環境づくりを行います。</p> <p>○子育てに携わる人材を育成します。</p>	<p>○保護者が放課後家庭にいない児童を対象とした『放課後児童クラブ』（こどもクラブ）を市内 45ヶ所に設置し、適切な遊びと生活の場を確保することにより、児童の健全な育成に努めました。</p> <p>○『放課後子ども教室』を、民生委員を始めとした地域の方々の協力のもと、地域全体での子育ての支援をすることにより、子育てにやさしい環境づくりを推進しました。</p> <p>○こどもクラブの指導員を対象とした研修会を開催し、保育の質の向上に努めました。</p>	<p>○子育てに携わる団体への支援や、サービス提供体制が十分でない地域に対する子育て支援に積極的に取り組んでいきます。</p>	<p>○湊地区における湊しらとり保育園（へき地保育所）の指定管理を受託し、『幼児英語教室や親子教室』など特色ある保育を実施するとともに、福祉施設の訪問や地元産品の給食への活用等、地域に密着した園の運営を行いました。</p> <p>○放課後児童クラブのうち湊こどもクラブの運営を受託し、湊小学校との連携をはじめ、地域の高齢者との交流、湊公民館行事への参加等、湊しらとり保育園同様、地域に密着した子育て支援活動を行いました。</p> <p>○NPO 法人寺子屋方丈舎が主催するこども食堂運営会議に出席するなど、子どもの居場所づくり活動を支援しました。</p>		<p>○地域で行う子育ての支援</p> <p>短時間の預かり 0.3%</p> <p>保育園などの送迎 0.3%</p> <p>※ 地域福祉活動実態調査（H29）</p>



会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○子育てに関する支 援、相談体制のさら なる充実を図りま す。</p> <p>○共働き、ひとり親家 庭等が自立して生活 できるように必要な 支援を行います。</p>	<p>○臨床心理士・言語聴覚 士による乳幼児健診事 後相談の実施や、保育 所、認定こども園での 子育てに関する相談や 子育て家庭等の交流の 場を提供する『地域子 育て支援事業』の充実 を図りました。</p> <p>○病児・病後児の預かり、 早朝・夜間等の緊急時 の預かりなど多様なニ ーズへ対応する『あい づ・ファミリー・サポ ート・センター事業』 を行いました。</p>				

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
5 高齢者が安心して生活できる地域づくり	○高齢者が可能な限り 住み慣れた地域でそ の人らしい生活が続 けられるよう、「地域 包括ケアシステム」 の構築を目指しま す。	○地域住民主体による企 画・運営で地区敬老会 を実施し、地域の高齢 者福祉への関心と理解 を深めるとともに、高 齢者自身が生活意欲を 高める機会なるよう実 施しました。 ○健康を維持し、管理 に努めながら教養を身 につけ、社会生活に参 加することに生きがい を感じ、充実した生活 を送ることを目的に、 『いきいき健康教室』、 『いきいき趣味教室』 を実施しました。  〔 趣味教室 10 回開催 93 名受講 健康教室 10 回開催 65 名受講 〕	○地域住民が 取り組む見 守り活動の 支援や、高 齢者の生き がづくり の活動等へ の支援を 図っていき ます。 ○地域活動の リーダー養 成の取り組 みを推進し ます。 ○高齢者の地 域生活を支 援していき ます。	○『ふれあい・いきいき サロン活動』や『除雪 ボランティア活動』の 推進、地区社協の組織 化など、地域での支え 合い活動の強化に取 り組みました。(再掲) ○市より一次予防事業、 緩和型デイサービス モデル事業を受託し、 介護予防に関する運 動や知識の啓発を行 いました。 ○老人福祉センターに おいて、高齢者の健康 と教養の増進を図る ため、多様な講座の開 催やクラブ活動、カラ オケ発表会等のイベ ント開催等、レクリエ ーションの場、交流の 場として利用促進に 取り組みました。	○生きがづくりや社会 参加の促進について関 心を高め、元気で生き がいを 持つて生活するこ とを目指します。(市民) ○孤立死等の防止のため、 高齢者同士の交流や支 え合いの必要性を意 識 します。(市民) ○地域の活動拠点で行 われる集いの場等に積 極 的に参加します。(市民) ○介護予防についての理 解を深め、積極的な取 組 みに努めます。(市民) ○地域内で健康教室等 を 開催し、健康づくりに 努 めます。(地域の各種 団 体) ○在宅の高齢者世帯に 対 する関心を持ち、見守 り や支援を行います。(地 域 の各種団体)	○高齢者の地域での交 流 相談や頼みごと 17.5% 世間話など情報交換 39.4% あいさつ程度 32.4% つきあいなし 5.4% ※ 高齢者一般調査 (H29) 《参考》 ○高齢者の地域での交 流 相談や頼みごと 19.2% 世間話など情報交換 43.7% あいさつ程度 28.4% つきあいなし 4.6% ※ 高齢者一般調査 (H26)

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○民生委員との連携や孤立死防止等ネットワークの充実・強化により、地域に根差した高齢者の見守り体制を図っていきます。</p> <p>○地域との連携を深め、ボランティアなどを含む多様な主体による支援の拡大など、生活支援の充実を図ります。</p>	<p>○地域サロンでの介護予防の推進のために、『地域リハビリテーション活動支援事業』を実施しました。</p> <p>○『孤立死防止等ネットワーク』協定事業者の事業所や車両等にステッカーを貼付し孤立死の防止に向けた活動の推進を図りました。〔新規〕</p> <p>○民生委員や高齢者相談員との連携、『孤立死防止等ネットワーク』の充実・強化により、地域に根差した高齢者の見守り体制を図りました。</p> <p>○地域住民の支え合いにより安心して暮らせるまちづくりを目指し、社協と連携し『地域支援ネットワークボランティア事業』を展開しました。</p>		<p>○介護認定を受けた高齢者の地域生活、居宅生活を支援するため、居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業、認知症対応型共同生活介護事業、認知症対応型通所介護事業の介護保険サービスを提供しました。</p>	<p>○高齢者の行事（敬老会・老人会・サロン活動等）のために、地域の自治会館や集会場等の活動拠点を開放します。（地域の各種団体）</p> <p>○従業員が退職後に地域づくりやボランティア活動等に参加し、地域貢献に従事していただけるような意識啓発に努めます。（民間事業者）</p> <p>○高齢者が利用しやすいよう福祉サービスの情報発信に努めます。（福祉サービス事業者）</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
6 障がい者（児）への理解促進と共生の地域づくり	<p>○障がいについての正しい理解が図られるよう、周知に取り組みます。</p> <p>○障がい者に配慮し、障がいの特性に応じた多様な情報提供に努めるとともに、市民や企業・事業所等にも理解促進を図ります。</p>	<p>○発達障がいをテーマとした『市民講演会』を開催し、障がい者理解の啓発に努めました。</p> <p>○障がい者差別をなくすことを明記した『地域自立支援協議会だより』を作成し、全戸に配付しました。</p> <p>○職員が差別の解消に対応するため、「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」制定しました。〔新規〕</p> <p>○広報議会の点字版として『点字版広報議会』を発行しました。また、音訳版の『声の広報議会』を発行し CD などの配付のほか、ホームページにも掲載しました。〔新規〕</p>	<p>○障がい者の地域生活への支援に努めます。</p>	<p>○障がい者支援センターカムカムにおけるボランティア相談及び派遣窓口を担い、障がい者の地域生活を支援しました。</p> <p>○障がいに対する理解とつながりづくりを深めるため、障がい者との交流事業『一緒に走ろう』『お城に登ろう』『一緒に歌おう』を実施しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>一緒に走ろう 30名参加 お城に登ろう 24名参加 一緒に歌おう 41名参加</p> </div> <p>○発達障がい等の子どもへの支援を強化するため、『メンタルフレンド養成講座』を開催しました。 〔3回開催 55名参加〕</p>	<p>○合理的配慮（障がいに応じた配慮）にできる限り努めます。（市民）</p> <p>○障がいについての正しい情報の受け入れに努めます。（市民）</p> <p>○障がいの有無に関わらず相互理解・支え合いの意識を持ちます。（市民）</p> <p>○障がい者に対して不当な差別的扱いをしないように努めます。（市民）</p> <p>○障がいの有無に関わらず、誰もが地域活動に参加できるように努めます。（地域の各種団体）</p>	<p>○町内会活動への参加状況 参加している 26.5% 参加していない 61.3%</p> <p>○近所つきあいの状況 ほとんどない 19.2% ※ 障がい者福祉アンケート（H29）</p> <p>《参考》</p> <p>○町内会活動への参加状況 参加している 31.7% 参加していない 57.1%</p> <p>○近所つきあいの状況 ほとんどない 14.3% ※ 障がい者福祉アンケート（H26）</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○市民や事業者からの意見を集めることなどにより、課題を把握するとともに、地域自立支援協議会の場を活用するなど、合理的配慮（障がいに応じた配慮）にもとづき、課題解消の立案・施策展開を行い共生の地域づくりに向けて取り組みます。</p>	<p>○『地域自立支援協議会』において、専門部会を毎月開催し、各部会において課題解決に向けての取組を行いました。</p>	<p>○障がいの有無に関わらず、誰でもボランティア活動に参加しやすい環境づくりに取り組みます。</p>	<p>○障がい者の在宅生活継続のため、居宅介護事業、重度訪問介護事業の実施、更に『ガイドヘルパー派遣事業』を受託し、身体介護や家事援助、移動支援等の支援を行いました。</p> <p>○会津通園訓練センターたんぼぼ園において、障がいのある乳幼児に対する児童発達支援、及び学童に対する放課後等デイサービスを提供しました。</p> <p>○ボランティア活動に対する市民や企業の意識啓発と、障がい者の社会参加を促進するため、『カムカムボランティアポイント実証実験事業』を実施しました。 （95名参加 （うち障がい者 35名））</p>	<p>○各種団体活動に障がい者が積極的に参加できるように努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○障がい者の雇用、就業を促進します。（民間事業者、福祉サービス事業者）</p> <p>○合理的配慮（障がいに応じた配慮）にできる限り努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者）</p> <p>○地域との交流機会を創出し、障がい・障がい者理解の推進に努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者）</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
7 生活困窮者の自立に向けた支援	○総合的な相談窓口である生活サポート相談窓口において適切な支援を行います。	○『生活サポート相談窓口』に早期につながるよう、地域包括支援センターや医療機関、教育機関等に連携を図り、窓口の周知を努めました。また、就労支援や住確保給付金制度、学習支援などの支援に努めました。 ○民生委員やハローワーク、地域包括支援センターなどの関係機関と連携、情報共有を図り、早期の支援に取り組みました。 ○住宅確保要支援者に対する情報提供や場合により『住居確保給付金』制度の利用を促し、家賃補助と就労支援の両面からの支援を行いました。	○貸付事業や法外援護事業等の実施、行政・関係機関・地域との協働により、生活困窮者の支援を行います。	○『ふれあい福祉センター総合生活相談所』を設置し、日常的な心配ごとから、各種専門的な相談（一般相談、法律相談、障がい児・者相談、傾聴相談、権利擁護・成年後見相談、子育て相談）にも対応しました。 ○県社会福祉協議会（以下「県社協」）より生活福祉資金貸付事業を受託し、生活困窮世帯の自立更生のため、資金の貸付を行いました。	○生活困窮者に関する総合的な相談窓口である生活サポート相談窓口について把握します。（市民） ○地域の中での生活困窮者に対して、早期の生活サポート相談窓口での相談をすすめることに努めます。（地域の各種団体） ○生活困窮者に対する地域でのインフォーマルな支援（見守りや声かけなど）を行います。（地域の各種団体） ○生活困窮者に対して、総合的な相談窓口である生活サポート相談窓口の情報を提供します。（民間事業者、福祉サービス事業者）	○よく利用する生活相談窓口（再掲） 地域包括支援センター 18.9% 生活サポート相談窓口 12.9% 民生委員 14.9% その他市役所 15.1% 社協 5.4% 障がい者総合相談窓口 1.1% ※ 地域福祉活動実態調査（H29）

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
			○生活困窮者 についての 情報を、市 と共有し、 支援の強化 に努めま す。	○行政や関係機関と連 携し、生活困窮世帯に 対する『フードバンク 事業』（緊急食料の提 供）、こども食堂事業、 年末特別相談会を実 施しました。〔新規〕 〔フードバンク事業〕 受入 16 件 提供 129 件 年末特別相談会 開催 3 日 相談数 3 件	○行政・関係機関・地域と 連携しながら生活困窮 者への支援を行います。 （民間事業者、福祉サー ビス事業者）	
8 安心安全なまちづくり	○災害時避難行動要支 援者の居場所を確認 し、その情報を把握 するとともに、地域 における日常的な見 守り活動や災害時に おける支援などを図 るための体制づくり を進めます。	○災害時避難行動要支 援者の名簿を作成し、町 内会等へ配付しまし た。〔新規〕（再掲） ○自主防災組織の立ち上 げに向けた『出前講座』 や説明会を実施しまし た。 〔21 回 553 名参加〕	○ボランティ アセンター 事業の充 実・強化を 図ります。	○福島県総合防災訓練 に参加し、ボランティ アと協働で災害ボラ ンティアセンター設 置運営訓練を行いま した。 ○県社協主催の『災害ボ ランティアセンター 運営講座』に出席し、 センターの運営方法 について理解を深め ました。	○自らの命は自ら守る（自 助）という意識を持ちま す。（市民） ○自分たちのまちは自分 たちで守る（自助・共助・ 互助）という意識を持ち ます。（市民） ○地域において相互に助 け合（互助）、平時から防 災体制の構築に努めま す。（市民）	○地域の防災に必要と 考えること 災害時要援護者支援 47.4% 自主防災組織 32.0% 防災訓練 24.3% 勉強会 34.6% 行政や福祉事業者と の連携 37.1% ※ 地域福祉活動実 態調査（H29）

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○地域における犯罪を抑止し、安心安全に暮らせる地域とするため、地域住民による自主的な防犯活動を推進し、支援します。</p>	<p>○地域の防犯のため、町内会に防犯灯の設置費用や電気代を補助しました。 ○地域の防犯のため、防犯パトロールを実施しました。</p>			<p>○地域での防犯・防火訓練の実施など、日頃より防犯・防災意識の啓発に努めます。(地域の各種団体) ○住民同士や関係団体との協力により、防犯・防災のための見回り等を実施します。(地域の各種団体) ○施設の安全確保を図るとともに、防災意識の普及・啓発に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者) ○施設の確保や備蓄品の保管等、従業員や顧客等が滞在可能な環境整備に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者) ○日常的に要支援者に対する声かけや見守りを通して、防犯・防災意識の向上に努めます。(福祉サービス事業者)</p>	<p>《参考》 ○地域の防災に必要と考えること 災害時要援護者支援 32.5% 自主防災組織 40.6% 防災訓練 25.9% 勉強会 26.2% 行政や福祉事業者との連携 33.6% ※ 地域福祉推進調査 (H25)</p>



会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

<p>基本目標3に係る評価 (平成28年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>○地域の『ふれあい・いきいきサロン』数が増加しており評価できる。サロン活動は、高齢者の閉じこもり防止による介護予防効果が期待されることから、引き続きサロン活動の推進に努められたい。</li><li>○災害時避難行動要支援者の支援のあり方について、要支援者個別の対応にあたっては、地域での協議が必要と考える。</li><li>○放課後児童クラブを各地に整備するなど、子育て支援を図っていることは評価できる。</li><li>○障がい者福祉アンケートによると、3年前と比較し障がい者の地域活動への参加率が減少している。また、近所づきあいのない人の割合も増加しており、障がい者が地域活動に参加しやすい状況づくりが望まれる。</li><li>○生活困窮者の総合的な相談窓口である『生活サポート相談窓口』が、更なる早期発見、早期支援につながるよう、認知度の向上や支援制度の充実を図られたい。</li></ul>
--------------------------------	--

基本目標 4 健康でずっといきいき暮らせる地域づくり						
基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の展開 ＜社会福祉協議会に求められること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民間事業者、福祉サービス事業者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 健康づくりの推進	<p>○健康づくりのための普及啓発や取り組みに対する支援を行います。</p> <p>○健康課題の分析を行うとともに、関係団体と連携しながら課題解決に向けて取り組みます。</p>	<p>○健康づくりの促進や健康を意識させる動機付けをする仕掛けとして、お得なサービスが受けられる健康ポイントを付与する健康ポイント事業を実施しました。〔新規〕</p> <p>○市民の食生活の調査を行い「会津若松市食育ネットワーク」や「会津若松市食生活改善推進連絡協議会」などの団体と協力して市民に食生活改善を働きかけました。</p> <p>（集会・対話訪問 544回 17,489名参加）</p>	<p>○健康づくりにつながるような地域のサロン活動等の充実・強化に向けた支援を図ります。</p>	<p>○『ふれあい・いきいきサロン』に職員を派遣し、介護予防、認知症予防に関する運動や知識について支援を行いました。また、レクリエーション器具の貸出を行いました。</p> <p>○老人福祉センター、北会津保健センターの運営を通し、健康の増進と憩いの場の提供に取り組みました。</p>	<p>○健康への関心を高め、積極的な健康づくりに努めます。（市民）</p> <p>○定期的に健診を受けるなど自分の体の状態を知り、生活習慣の見直しや早期の治療を行うことに努めます。（市民）</p> <p>○医療に対する理解を深めることに努めます。（市民）</p> <p>○適度な運動の実施や、サロン活動等への参加を通じた地域住民同士の交流等を通じ、心身のリフレッシュに取り組むことに努めます。（市民）</p> <p>○健康づくりの活動を通して住民の健康増進を図ることに努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○住民に対して健康受診の呼びかけを行います。（地域の各種団体）</p>	<p>○健康づくりの実施状況</p> <p>運動や散歩 56.3%</p> <p>検診受診 54.0%</p> <p>バランスのよい食事 51.1%</p> <p>外出 40.6%</p> <p>趣味・地域活動 27.5%</p> <p>※ 高齢者一般調査（H29）</p> <p>《参考》</p> <p>○健康づくりの実施状況</p> <p>運動や散歩 52.5%</p> <p>検診受診 46.5%</p> <p>バランスのよい食事 43.6%</p> <p>外出 38.9%</p> <p>趣味・地域活動 22.5%</p> <p>※ 高齢者一般調査（H26）</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	○国保の保険者として、被保険者に対する特定健康診査等の受診を積極的に推進します。	○健診受診の動機付けとして、集団健診会場での温泉入浴や健康朝食の提供を行いました。また、健診受診者への温泉施設やスポーツ施設等の割引券の配付を行いました。			○従業員の健康づくりに対する理解の促進に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者) ○従業員への定期健康診断の実施や、人間ドックの積極的な受診の推進に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等) ○従業員が医療機関を早期に受診できる職場環境づくりに努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 地域医療体制の充実	<p>○市民に適切な医療を提供できるよう、医師会及び歯科医師会や薬剤師会をはじめとする関係医療機関と連携し、時代の要請に応じた医療体制の確保に努め、医療の充実を図ります。</p> <p>○医療機関や保健所等との連携により、難病患者への支援のあり方についても対応を進めていきます。</p> <p>○母子の健康の確保に向けた、かかりつけ医の推奨など地域医療機関との連携を充実します。また、保健・医療・福祉の連携による障がい児への支援や障がい者へのサービス提供体制の充実を図ります。</p>	<p>○医療提供体制の確保及び保健衛生事業の円滑な実施に寄与するものとして、会津若松医師会が実施する会津准看護高等専修学校の移転整備に対する支援を行いました。〔新規〕</p> <p>○県や医療機関、福祉事業者などが参加する「難病患者地域支援連絡会議」、「難病患者在宅ケア調整会議」に参加し、支援体制の整備を図りました。</p> <p>○乳幼児健診や教室等にかかりつけ医の推奨を行いました。</p>			<p>○市ホームページや市政だより等による休日当番医や医療機関に関する情報に日頃から関心を高めることに努めます。(市民)</p> <p>○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持ち、いつでも安心して診療が受けられるように努めます。(市民)</p> <p>○在宅医療についての認識を深めることに努めます。(市民)</p> <p>○出前講座等の利用により、本市の医療体制の現状や在宅医療についての理解を深めることに努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○市民が安心して必要な医療が受けられるよう、市内医療機関の医師・看護師等の医療スタッフの確保に努めます。(医療機関等)</p>	<p>○市に充実すべき施策や事業 在宅・訪問医療 14.4% ※ 高齢者一般調査(H29)</p> <p>《参考》</p> <p>○市に充実すべき施策や事業 在宅・訪問医療 22.0% ※ 高齢者一般調査(H26)</p>

## 会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

<b>基本目標 4 に係る 評価 (平成 28 年度)</b>	○高齢者一般調査によると、3年前と比較し高齢者の健康づくりの実施状況が全体的に高くなっており、これまでの取組の成果であるものと評価できる。今後も、市民が健康づくりに取り組みやすい事業を継続して実施されたい。 ○保健衛生事業の更なる円滑な実施に向け、関係機関が連携し、継続して実施されたい。
---	---

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本目標 5 福祉サービスの充実した地域づくり						
基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 福祉サービスを利用しやすい環境づくり	<p>○市民に対して福祉サービスについての的確な情報発信を行います。</p> <p>○関係機関との連携により、利用者ニーズに即した福祉サービスの提供につながる環境整備を行います。</p>	<p>○ホームページやパンフレットにより福祉サービス事業者の情報提供を行いました。</p> <p>○「障がい者福祉ハンドブック」を作成し、障がい福祉サービスや助成事業の周知を図りました。</p>	<p>○ニーズを踏まえ、利用者にとって、さらに利用しやすいような事業の充実を積極的に図ります。</p>	<p>○社協だより、ホームページ、フェイスブックにより、事業内容について情報提供を行いました。</p> <p>○市『間口除雪』と『地域ぐるみ除雪ボランティア』について、地域懇談会のご意見を踏まえ、市と協議を重ね活動しやすい仕組みとなるよう手続きの一本化を図りました。</p>	<p>○福祉サービスの内容や提供事業者に関する情報の把握及び、自分に合ったサービスの選択・利用に努めます。(市民)</p> <p>○福祉サービスの内容や提供事業者に関する情報などを地域住民間で共有できるような場づくりに努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○利用者一人ひとりを尊重したサービスの提供を心がけるとともに、利用者ニーズに即した更なるサービスの向上に努めます。(福祉サービス事業者等)</p> <p>○福祉サービスの向上につながるような人材育成や職場環境の向上に努めていきます。(福祉サービス事業者等)</p>	<p>○市が充実すべき施策や事業 情報発信体制の充実 26.9% ※ 高齢者一般調査(H29)</p> <p>《参考》 ○市が充実すべき施策や事業 情報発信体制の充実 31.1% ※ 高齢者一般調査(H26)</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 相談体制の充実・強化	<p>○各種相談窓口や相談員の情報を一覧表で整理し、広報紙やホームページなどに掲載するほか、民生委員や地域包括支援センターなどの相談員を通じ、周知を図ります。</p> <p>○各種相談窓口間の連携を密にし、市民からの相談に対して一元的な相談体制を構築します。</p>	<p>○「市民ガイドブック」に生活支援や相談窓口の一覧を掲載し、転入者に配付のほかホームページに掲載しました。</p> <p>○障がい者支援センターカムカムにおいて、障がい者に対する各種相談支援（生活・就労・ボランティアなど）を集約し、効率的に行いました。〔新規〕</p> <p>○地域の障がい者の相談窓口において、高齢者福祉との連携を強化し、相談支援機能を強化しました。</p>	<p>○総合相談業務の体制強化を図り、必要に応じて市や関係機関との情報共有や連携を行います。</p>	<p>○行政や関係機関と連携し、生活困窮世帯に対するフードバンク事業（緊急食料の提供）、こども食堂事業、年末特別相談会を実施しました。（再掲）</p> <p>○県社協より日常生活自立支援事業（あんしんサポート事業）を受託し、判断力が低下した認知症高齢者等の権利擁護を目的に、福祉サービスの利用援助や金銭管理等を行いました。</p> <p style="text-align: center;">（契約者数 48 名 相談援助件数 5,036 件）</p>	<p>○各種相談窓口に関する情報について市のホームページや広報誌などに日頃から目を通し把握に努めます。（市民）</p> <p>○地域の中で情報を必要としている人の把握に努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○各種相談窓口についての情報を把握し、情報を必要としている住民に周知します。（地域の各種団体）</p>	<p>○よく利用する生活相談窓口（再掲）</p> <p>地域包括支援センター 18.9%</p> <p>生活サポート相談窓口 12.9%</p> <p>民生委員 14.9%</p> <p>その他市役所 15.1%</p> <p>社協 5.4%</p> <p>障がい者総合相談窓口 1.1%</p> <p>※ 地域福祉活動実態調査（H29）</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○各所属に関する情報を市民に対して適切かつ効果的に広報し、市民が個別のニーズに基づき、円滑に相談・利用できるように努めます。</p> <p>○専門的な人材の配置や、相談業務に対応する人材に対する研修等を通して、相談体制の強化を図ります。</p>	<p>○「介護保険の手引き」や「市政だより」、ホームページなどにより、高齢者の相談窓口の情報提供を行いました。</p> <p>○妊娠届時に親子の『健康づくりガイドブック』を配付し、様々な相談窓口の情報提供を行いました</p> <p>○『子育て支援パンフレット』を作成し、転入者へ配付のほか、窓口等でも配付し、子育て支援センターの情報提供を行いました。</p> <p>○障がい者相談員の育成を通して相談支援体制の機能を強化しました。</p>			<p>○日頃より各種相談窓口等の情報把握に努めるとともに、サービス利用者や相談者に対する周知に協力します。(福祉サービス事業者等)</p>	



会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 28 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 28 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
3 利用者主体の福祉サービスの実現	<p>○関係機関との連携により、利用者からの声を吸い上げるような仕組みづくりを行います。</p> <p>○利用者からのニーズについては、関係機関に確実に伝達するような連携体制を構築します。</p> <p>○市民に対して福祉サービスについての的確な情報発信を行い、現状の福祉サービスについての正しい理解を深めることに努めます。</p>	<p>○介護保険運営協議会において、利用者からの意見を頂き、市と事業者間で情報の共有を図りました。</p> <p>○「地域包括ケア会議」において、地域の方から広く意見を頂き関係者間で共有を図りました。</p> <p>○介護保険の手引き、市政だより、ホームページ等により、高齢者のサービス情報の提供を行いました。</p> <p>○地域包括支援センターにより、高齢者のサービス援情報の提供を行いました。</p>	<p>○福祉サービスの質の向上につながるよう、利用者からのニーズの把握に努めるとともに、ニーズを踏まえた事業を推進します。</p>	<p>○寄せられた要望・苦情について、事務局内で共有し、業務の改善を図るとともに、第三者委員である苦情解決委員に報告を行いました。</p> <p>○介護サービス事業所、指定管理施設では利用者アンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めました。</p>	<p>○福祉サービスやサービス提供事業者の情報に関心を持ち、自分に合った福祉サービスの選択に心がけます。(市民)</p> <p>○福祉サービスを利用して気づいた点等があれば、サービス提供事業者に伝えるよう努めます。(市民)</p> <p>○住民間で福祉サービスや提供事業者に関する情報交換等を行えるよう、住民同士の交流機会の創出に努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○利用者一人ひとりを尊重したサービスの提供を心がけるとともに、利用者ニーズに即した更なるサービスの向上に努めます。(福祉サービス事業者等)</p> <p>○福祉サービスの向上につながるような人材育成や職場環境の向上に努めていきます。(福祉サービス事業者等)</p>	<p>○介護保険制度に対する満足度 よい制度 22.8% まあまあよい制度 21.1% ※ 高齢者一般調査 (H29)</p> <p>《参考》 ○介護保険制度に対する満足度 よい制度 24.7% まあまあよい制度 24.1% ※ 高齢者一般調査 (H26)</p>

## 会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

<p><b>基本目標5に係る 評価 (平成28年度)</b></p>	<p>○障がい者に対する相談支援機能を各地域に置くなど、利用者の利便性の向上に向けた取組を継続して実施されたい。 ○福祉サービス利用者のニーズが多様化していることから、利用者がニーズに即したサービスが受けられるよう情報の提供、関係機関との連携を継続して実施されたい。 ○福祉サービス事業者にあつては、事業の継続に向けた取組を強化するとともに、事業者としても地域の一員として、地域の活動に参加していただきたい。</p>
--	--

### ※ 地域福祉活動の実態調査結果

地域福祉活動実態調査	対象町内会区長 506 人	回答者数 350 人 (平成 29 年 9 月)
地域福祉推進調査	対象市民 5,500 人	回答者数 1,838 人 (平成 25 年 8 月)
障がい者福祉アンケート	対象障害者手帳所持者 4,500 人	回答者数 2,236 人 (平成 29 年 5 月)
	対象障害者手帳所持者 3,000 人	回答者数 1,436 人 (平成 26 年 7 月)
高齢者一般調査	対象要介護 3 以上を除いた 65 歳以上の市民 2,000 人	回答者数 1,359 人 (平成 29 年 5 月)
	対象 65 歳以上の市民 2,000 人	回答者数 1,346 人 (平成 26 年 5 月)

## 会津若松市地域福祉計画評価シート（重点的取組）

### 1. 地域福祉活動の基盤となる地域の仕組みづくりの推進

取組項目	平成 28 年度の取組	重点的な取組の評価
(1) 地域住民の参画による地域づくりの推進	○湊地区において住民が主体となって地域課題の解決に取り組む「湊地区地域活性化協議会」の活動を支援し、連携・協働によりイベント開催や農産物直売所運営、地域内交流バス運行、地域の担い手育成などの地域づくり活動に取り組みました。	○地域の仕組みづくりが進んでいる地域では、活発に活動されている。活動の充実・強化が図られるよう、協力体制づくりなどへの支援を期待したい。
(2) 地域を支える人材の育成	○「湊地区地域活性化協議会」による『地域づくりコアリーダー養成講座』を支援し、地域の担い手となる人材の育成に取り組みました。 ○『生涯学習支援者養成講座』や『支援者実践講座』、『地域デビュー講座』を開催し、地域学習や地域活動に主体的に参画できる人材の育成に努めました。	○これから取り組みを行おうとする地域や団体には、地域包括ケア会議などの機会を通じて、他の地域の取組を紹介するなど、地域福祉に対する理解促進を図る取組を継続して実施されたい。
(3) 社会的孤立の防止	○民生委員や高齢者相談員との連携、「孤立死防止等ネットワーク」の充実・強化により、地域に根差した高齢者の見守り体制の強化を図りました。	○地域包括ケア会議などにより地域の各種団体間の連携を密にし、地域の実情に応じた見守り体制の構築を進められたい。
(4) 権利擁護の推進	○高齢者等の権利擁護への関心を高めるため、成年後見制度の普及啓発の研修会を開催しました。	○地域福祉活動に参加できるよう、事業所の社会貢献活動や従業員、学生などが地域福祉活動に参加しやすい環境づくりを促す取組の強化が望まれる。
(5) 各種団体間の協力体制の構築	○社会福祉協議会（以下「社協」）とともに地域包括支援センターや区長会、民生委員、福祉事業者などが参加する地域包括ケア会議に参加し、各者が連携し、地域の見守り・支援体制づくりを推進しました。	
(6) 企業・事業所への啓発活動等による環境整備	○消防団活動への理解と消防団員の確保のため、事業所へ活動への理解と協力の働きかけを行いました。	

## 会津若松市地域福祉計画評価シート（重点的取組）

### 2. 災害時避難行動要支援者に対する日常的な見守り体制

取組項目	平成 28 年度の取組	重点的な取組の評価
(1) 災害時避難行動要支援者の把握方法について	○住民基本台帳や高齢者、障がい者等に関する情報をもとに、災害時避難行動要支援者の把握を図りました。	○日々の地域における見守りが、災害時に自力で避難できない人への支援につながることから、引き続き地域の実情に応じた見守り体制の構築を進められたい。 ○災害時避難行動要支援者の支援に関する個別計画や自主防災組織の立ち上げに向けて、地域での支援体制の促進が望まれる。
(2) 災害時避難行動要支援者情報の共有及び更新方法について		
① 関係機関間の情報共有方法	○災害時避難行動要支援者のうち、名簿配付に同意した人の名簿を町内会長及び民生委員に対して提供を行いました。〔新規〕	
② 情報の更新方法	○新たな災害時避難行動要支援者になった人、前回調査時に名簿配付に未同意者に名簿配付の同意を求めました。〔新規〕	
(3) 災害時避難行動要支援者の支援について		
① 日常的な見守り活動や助け合い活動の推進方策	○社協とともに地域包括支援センターや区長会、民生委員、福祉事業者などが参加する地域包括ケア会議に参加し、各者が連携し、地域の見守り・支援体制づくりを推進しました。 ○「孤立死防止等ネットワーク」の連携事業者として、新たに2事業者と協定を締結し、見守り通報体制の充実を図りました。	
② 緊急対応に備えた役割分担と連絡体制づくり	○地域の自主防災組織に立ち上げに向けて、説明会の実施や希望する町内会等には『出前講座』を実施しました。	

## 会津若松市地域福祉計画評価シート（重点的取組）

### 3. 生活困窮者自立支援の取組

取組項目	平成 28 年度の取組	重点的な取組の評価
(1) 生活困窮者の把握方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早期発見、早期支援のために、社協、民生委員、地域包括支援センター等の連携を図るとともに、市の組織横断的な「生活困窮者自立支援庁内連携連絡会議」を開催して生活困窮者に関する情報把握に努めました。</li> <li>○『生活サポート相談窓口』の周知を図るため、医療機関やハローワーク等の関係機関へパンフレットを配付するとともに、小中学校の新入学生保護者説明会において周知に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○庁内各課の連携による生活困窮者への支援は、成果を収めていることから、引き続き連携による支援の強化を期待したい。</li> </ul>
(2) 自立支援のための各種支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活困窮者自立支援法で定める必須事業の『自立相談支援事業』、『住居確保給付金支給』のほか、任意事業である『就労支援準備事業』、『子どもの学習支援事業』を実施しました。</li> <li>○社協、ハローワーク等の関係機関と「生活困窮者支援調整会議」を毎月定期的に開催し、ケースにおける支援策などについて協議に努めました。</li> </ul>	
(3) 生活困窮者への支援を通じた地域づくりのあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活困窮者への支援については、公的な支援制度のみならず、地域住民等の理解やつながりが大切であることから、地域福祉の中核を担う民生委員等との連携を図り、市民生委員協議会理事会等において情報共有と連携に努めました。</li> <li>○地域包括支援センターと連携を図り、地域の課題共有のための地域包括ミニケア会議等に参加し、支援制度や地域福祉の考え方の理解が図られるように努めました。</li> </ul>	

## 会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート(重点事業)

項 目	平成28年度の取組	評 価
1 地区社会福祉協議会の設立・運営支援 ～地域の自助・互助力の強化～	地域の支え合い、助け合いの基盤づくりを進めるため、各種地域会議に参加し、関係機関と連携を図った。また、地区社会福祉協議会（以下「地区社協」）設立に向けてのモデル地区指定を目指し、地区に対して説明会を行い、地区社協への理解を促した。	既存の福祉活動を行っている団体等との関連性についても説明が必要。より地域の方々に地区社協について理解浸透をすすめ、設立のため事業展開を図りたい。
2 身近な相談窓口の開設 ～相談・生活支援体制の充実～	広報媒体による広報周知を行うほか、各種相談を受け付け、様々な生活課題の解決に向けて本会事業や他専門機関へ繋ぐ等、支援した。また、行政、NPO等と連携し、出張相談会を開催した。	市と社協のみならず、他機関との連携も進め、更なる相談支援体制の確立を図りたい。
3 地域支援コーディネーターの育成・配置	各種研修会や地域会議、介護予防教室、地域サロン活動等に参加し、アウトリーチ（地域に出向いていくこと）に努めた。	地域包括ケアシステムとの調整や、速やかな人材育成・配置について検討を図りたい。
4 多様なネットワークの構築 ～新たな協働事業の創出～	障がいの程度にかかわらず、誰でもボランティア活動に参加しやすい環境づくりや障がい者の社会参加を促しボランティア活動のすそ野を広げることを目的に、『カムカムボランティアポイント事業』を実施した。また、NPOによる『こども食堂』の運営等を支援した。地域の担い手育成のため、新たなボランティア育成事業の展開に向けて取り組んだ。 〔新規〕	行政・社会福祉協議会のみならず、多様な機関との連携を深められるよう努められたい。

## 会津若松市地域福祉計画等評価検証会議委員名簿

所属団体等	役 職	氏 名	備 考
会津大学短期大学部	教 授	渡 辺 一 弘	学識経験者
会津若松市区長会	総務部長	小 野 修	地域の関係団体
会津若松市民生児童委員協議会	理 事	中 島 健 次	地域の関係団体
湊地区地域活性化協議会	生活福祉部会長	坂 内 美智男	地域の関係団体
河東地域づくり委員会	会 長	岩 渕 澄 男	地域の関係団体
会津若松市地域包括支援センター連絡会	若松第1包括支援センター 管理者	君 島 弘 美	社会福祉関係団体
会津若松市障がい者総合相談窓口	管理者	齋 藤 研 一	社会福祉関係団体
会津若松市ボランティア連絡協議会	庶務	熊 田 洋 子	ボランティア団体